

建交労 ひかれい

2019年7月号
発行：建交労 No.184
岐阜農林建設連合支部
〒501-4234
郡上市八幡町五町1-4-15
電話 0575-67-1582

すべての労災・職業病の根絶をめざす



裁判をせず迅速なじん肺患者の救済を トンネルじん肺救済法創設目指して 決起する院内集会

6月10、11日、トンネルじん肺6陣の口頭弁論および院内集会のため東委員長、畠中書記の二人が参加しました。

一日目は参議院第一議員会館にて各国会議員に、「トンネルじん肺救済法の設立を要請しました。「トンネルじん肺根絶を求める賛同署名」の賛同状況は703名の内、575名です。

二日目は東京地裁前で宣言行動及び第二回口頭弁論があり、弁論終了後に院内集会を行いました。院内集会では議員13名、秘書6名が参加しました。その後「トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書」が47都道府県全てで採択されたことなどを話し、党派を超えた「トンネルじん肺救済法」の創設を目指す決起の場となりました。

羽島市 健康相談会開催

石綿（アスベスト）の被害 広く深刻

被害 広く深刻

6月23日、羽島市民会館で労災職業病無料相談会を開催しました。県本部から山田執行委員長も応援に来てくれました。西濃地区での相談会はここ数年実施していませんでしたが、新聞折り込みをおこなつたところ、7名の方が相談に見えました。



そのうち、はつりや家屋の建設・補修など建設関連の方が4名でした。アスベストによる肺がんを発症した方、アスベスト肺に合併症を発症した方は労災認定を受けてみました。建設アスベスト訴訟について説

明し、後日、弁護団から詳細を説明することになりました。

50代の男性は、健康診断でブラークを指摘された、咳や痰が出て息苦しいと相

働いた60代の男性は、咳や痰、息苦しいなどの自覚症状を訴え、アスベストじん肺について説明しました。羽島市には、アスベスト製品の製造工場があります。そこで45年間勤務した方も相談に来られました。強い息切れを訴えられ、会場にこられた時もはあはあと肩を動かして息苦しそうでした。その方にも労災制度について説明し、じん肺管理区分申請を行うことにしました。

トのほとんどが建築資材に使用されています。建設労働者のアスベスト被害の広がりを、まざまざと実感した相談会でした。

我が組合では、アスベスト被災者の救済を運動方針の一つとして取り組んでいます。岐阜じん肺弁護団と連携して、今後も各地区で相談会を開催して行く計画です。



この日の相談会では、7名のうち6名がアスベスト関連の仕事に従事していました。輸入されたアスベス

職業性疾患・疫学リサーチセンター 第17回定期総会

記念シンポジウム開催 メインシンポジストとして

河端先生が講演

6月16日(日)、けんせつプラザ東京で疫学リサーチセンターの総会とじん肺アスベストシンポジウムが開催され、岡本弁護団事務局長と畠中書記、兼山書記

や教育活動を実施することと現と精神的、身体的、社会的に健全で安全な労働生活を実現すること」を目的として設立されたものです。

近年、不当なじん肺管理区分1決定や、じん肺の病

神岡じん肺裁判　早期解決を求める賛同署名！

（現議員）

松葉晴彦・松山篤男・橋本正彦・倉田博之・榎隆司・西本泰輝・石原正裕
西田稔・山越恵一・牛丸尋幸・谷村昭次・上嶋希代子・中篠博之・車戸明良
中谷省悟・笹原等・谷澤政司・伊東寿充・水門義昭・中田清介・岩垣和彦
渡辺甚一・沼津光夫

（23名）

（旧議員）

松葉晴彦・木村征男・溝端甚一郎・大本新一・藤江久子・今井武男（6名）

労働者が直面する職業性疾患や健康に関する問題解決に向け、労働衛生、社会医学、社会科学的な調査研究活動を行い、情報を提供すると共に支援相談活動、労働安全衛生の普及啓蒙活動

態である間質性肺炎を労災認定しないなど被災者の救済を困難にしています。

これらの問題を検討するために神岡じん肺裁判で証言していただいた河端美則先生が「石綿ばくろによる間質性肺炎」について講演されました。

また藤井正實先生は、管理区分低位決定について問題を提起されました。田久悟氏（全国建設労働組合總

連合）はアスベスト関連疾病の掘り起こしと認定状況について報告されました。建交労 全国労職部会から福富事務局長ら幹事が出席し、この間のじん肺管理条例区分低位決定の現状を報告しました。

医師、労働組合など多くの仲間がじん肺の労災認定について様々な問題を検討し、今後の取り組みを確認しました。

2019年6月の活動報告

經 過

- 4日 亀井さん、行政訴訟 @山梨 地方裁判所
7日 第8回執行委員会 @組合事務所
10、11日 トンネルじん肺根絶訴訟 院内集会など
11日 神岡じん肺訴訟 原告団会議 @古川町中央公民館
16日 リサーチセンターシンポジウム @けんせつプラザ東京
21日 東濃分会 @笠原町中央公民館
28日 なくせじん肺キャラバン実行委員会 @駿府台記念館
29日 全国原告団会議

2019年7月の予定

子定

- 1日 神岡じん肺訴訟 口頭弁論 @岐阜地裁
3日 トンネルじん肺根絶訴訟 口頭弁論 @福井地裁
5日 第9回執行委員会 @事務所
8日 新規検査 @東濃厚生病院
10日 神岡じん肺訴訟 原告団会議 @古川町中央公民館
12日 神岡じん肺訴訟 間争本部会議 @郡上文化センター
18日 新規検査 @佐藤町診療所
23日 症状固定治癒について主治医面談 @県立多治見病院
24、25日 全国労災職病部会第21回総会 @チサンホテル浜松町

～お悔やみ～

東濃分会の水野貞二さん（84）が6月19日に亡くなられました。じん肺にり患し療養されていました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

自身の誕生日であつた6月14日、あまり交流のない人からのお祝いのメッセージやプレゼントに驚いた。しかし、一番の驚きはその日に大谷翔平がメジャーリーグで日本人初のサイクルヒットを達成したというニュースだつた。かつて二刀流と言われ、投手、野手の両方で活躍した選手は今、メジャーでも同様に活躍している。始めはアメリカの野球関係者から厳しい声もあつたが、徐々に実力が認められているだけではなく、知名度も広がりつつある。

サイクルヒットは自分の打席でホームランに加え、1塁打、2塁打、そして3塁打のそれぞれ異なる4安打を打つことである。そして特に三塁打は一打で三塁まで進む必要があるので、ある程度の運が結構絡んでくる。そのため、あのイチローですら達成できなかつたことをメジャー12年目にして達成した彼は、まさに「持つている選手」ということだ。

周りの言動に左右されることなく挑戦し続け、そして評価されていく彼をぜひとも見習いたい。

編集後記